

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

多数派の意見が正しいとは限らない、ベストを目指す3つの視点

片野坂真哉 (ANAホールディングス代表取締役会長)

- 巧みな熱弁により、多数派の意見も簡単に移ろってしまいかねない。これは経営者やビジネスパーソンにとって重要な教訓だろう。多数決の合理性を否定するわけではないが、選択された結論が「真に正しい答え」であるか否かは別のものであるという視点を持つことは重要だ。私はこれを判断する上で、3つの点を考慮すべきものだと考えている。
- 1つ目は「正しい情報に判断に基づいているのか」だ。生成AI(人工知能)を用いた巧みなフェイクニュースや画像が出回る時代においてなおさらだ。2つ目は「その選択がなるべく多くの人にとってプラスになるのか」だ。身近にいる人だけでなく、他の大勢の人にとってメリットやデメリットにもどこまで思いを巡らせるかどうかで、選択の質は変わってくる。
- 3つ目は「何年かたって振り返った時に『正しい判断だった』と言えるものであるか」だ。近視眼的な決断に陥らないために将来に思いを巡らせることは欠かせない。どんな人も限られた情報の中で判断を迫られることが多い。それでも判断を下す前に一歩立ち止まり、この3点について熟考することで誤った判断を下すことが防げると思う。

(参考:「日経ビジネス」2023年11月13日号)

経営者のための理念・哲学

北里柴三郎の人育ての要因は何か

山崎 光夫(作家)

- 北里柴三郎が人育ての原点とした言葉が「人に任じて疑う勿れ、疑って人を任ずる勿れ」です。これは北里の人間的なスケールを象徴したいい言葉だと思います。研究に当たって教え子たちを信じて思いっきりやらせる。伝染病研究所は一つの組織ですから経営者として所員たちに仕事を任せる。
- もう一つ、私が好きな柴三郎の言葉を挙げるとしたら「終始一貫」です。壁にぶつかっても気概をもって初心を貫くところは、柴三郎に限らず明治の日本人の特徴です。研究所から多くの逸材が育ち、人生が花開いていったのは、柴三郎の懐の大きさによるところも多かったでしょう。

(参考:「致知」2024年2月号)

人事・労務について

日本に外国人労働人が来なくなる日

- 「今、ベトナムの意欲ある若い層は韓国に目が向いている。賃金は日本を超え、外国人労働者の受け入れ拡大に本気になっているから。人気の順番は韓国、日本、台湾だが、3番手の台湾が日本を追い上げている」。ベトナムの技能実習生の送り出し機関に勤めるグエンさん(36)は語る。低熟練外国人労働者の平均月収は、日本の技能実習生は21.2万円、韓国は27.2万だ。
- グエンさんは「意欲ある若者が韓国に向かう一方で、日本に行く若者の意欲が低下している気がする」と明かす。技能実習生の質が下がったという指摘の一方で、日本の産業界は、その質をとやかく言えるような立場ではない現実がある。3K(きつい、汚い、危険)業務を担っているからだ。しかし実際は労働力の需給調整に使われている。90年代前半に約60万人いた高卒就職者は22年、約15万人になった。

(参考:「週刊東洋経済」2023年12月2日号)

古典に学ぶ

心について学べば自信が生まれる

- 心について学び、問題は自分で解決できるとわかると、心はどこまでも自由自在になれます。すると、肩の力が抜けて気が楽になるのです。
- そのような状態になると、怒りや不安、迷いが生まれても、「大丈夫、自分で解決できる」と思えます。そして、自分で自分を信じられるようになります。つまり、自信が生まれます。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)